

報道関係各位

2024年11月7日

NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社

日本通運、大阪・関西万博のシグネチャーパビリオン

「Dialogue Theater -いのちのあかし-」 サプライヤーとして、イチョウの木を輸送

NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社（社長：堀切智）のグループ会社、日本通運株式会社（社長：竹添進二郎 以下、日本通運）は、大阪・関西万博のテーマ事業プロデューサーであり、奈良県出身の映画作家・河瀬直美氏が手掛けるシグネチャープロジェクト(*)「Dialogue Theater -いのちのあかし-」にサプライヤーとして協賛し、京都府福知山市から万博会場までイチョウの木を輸送しました。



(パビリオンでの展示イメージ図)



(輸送中の様子)



(万博会場での設置作業の様子)

今回輸送した樹齢100年を越えるイチョウの木は、河瀬氏が手がけるシグネチャープロジェクトのパビリオン「Dialogue Theater -いのちのあかし-」に活用される、廃校となった京都府福知山市立旧細見小学校中出分枝に植えられていたものです。会期中、パビリオンのシンボルとして新たな「いのち」が吹き込まれ、来場者をあたたかく見守る役割を務めます。

日本通運は、今回開催される大阪・関西万博において「場内貨物取扱指定事業者」「推奨物流事業者」の指名を受け、多様な輸送モード・グローバルネットワーク・現場力を活かしながら円滑な開催準備を進めています。大阪・関西万博開催に向けて、地域や世界と手を取り合いながら、未来への一歩を踏み出します。今回の協賛を通じて万博の成功をサポートし、持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

関連リリース：日本通運、2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)をサポート

<https://www.nipponexpress-holdings.com/ja/press/2021/20211209-2.html>

(*)シグネチャープロジェクト：今回の大阪・関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会」の姿を描き出すために、主催者と協賛企業等が連携して行う、万博の中核となる事業

本リリースに関する問い合わせ先

NIPPON EXPRESS ホールディングス株式会社

コーポレートコミュニケーション部

TEL : 03-5801-1212 Email : nxhd-pr@nipponexpress.com

担当：関谷・高畑・谷田部